

GO! GO! よしひろ

Vol.23
DEC.2010

りん!



埼玉県議会議員

鈴木よしひろ活動レポート

第23号

平成22年(2010)12月発行

〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

ホームページ <http://www.yosshisuzuki.com> E-mail yosshisuzuki@gmail.com

Think together
Go together

Opinion 今、考えていること

この頃の「政治主導」って
おかしくくないですか？



埼玉県議会議員

鈴木よしひろ

**今の政治主導とは
ガバナンスの低下と
統治能力の欠如？**

民主党政権が「政治主導」を標榜して、政権運営を行っています。

政治主導とは「国民から選挙で選ばれた国会議員が、官僚主導からの転換を図るべく、官僚をリードして政策を決定・実行すること」です。

しかし、八ッ場ダム、暫定税率、子ども手当……。これらを巡る現政権の変節を見ると「政治主導」に首をかしげるのは私だけではないと思います。

先の「事業仕分け」を見て

も、企業で職業訓練を受けたフリーターらが独自の履歴書をまとめて就職活動に活用するジョブカード事業は、民主党政権が6月に閣議決定した新成長戦略で、同制度登録者を2020年までに現在の約25万人から300万人に増やす目標を掲げ、予算を組みながらも、事業仕分けで廃止して別の仕組みを設けるよう求められています。

10年、20年前に創ったプログラムではなくて、まさに平成22年度予算を組んで行ったものを仕分けで縮減や廃止しようという実態を見てくると、今の「政治主導」とは「ガバ

ナンスの低下」統治能力の欠如」の意味ではないかとすら思えてきます。

**民意の集約
その政治の役割を
今、取り戻そう。**

民意の集約という役割が政治のシステムにあります。それをどこかに忘れてきているのではないかと。子供手当を取った。様々な意見がでていました。日本にいる外国の子供たちと同じように配って良いのか、という疑問の声が上がりました。

何のための子供手当か。ある人に聞けば景気浮揚だという。時には子育て支援だとい

う。また、ある時は子供のためと、語る人はバラバラ。そもそも論がないばかりか、そういう意見をどこで、集約をしていくのが、無いままです。

今、政策自体が、選挙の方便になつている。そこで、言いつ放して責任を取らない。それは政治主導なのか。失敗したら退場する。それで新陳代謝を図っていく。そういう政治でなければ政治主導と言えません。

自民党は政治とカネで信頼をなくしましたが、今、民主党政権は、カネだけではなくて、もっと本質的なところで信頼を無くしています。政治を壊している気がします。

政治を壊している気がします。

Opinion
今、考えていること

このあり方をどうしようふうに変えていくのか。

そのヒントは昨年、臓器移植法の採決にある気がします。2009年6月、国会では人の死の定義を巡り、A案からD案という四つの意見を出し、党議拘束を外して議員それぞれが選ぶというところを行いましたが、結果、A案となりました。各議員は個人の信念で投票を行いました。

政治は夢や希望を掲げ、それを実現する手法。では何を目標とするのか...

政党政治では、党議拘束も必要ですが、政策課題によつては、政治家個人の責任により意見を反映させる。こういったことで劣化しているといわれる政治をダイナミックに動かす知恵が生まれると考えます。

そのためには我々、政治家は、もつと議論していただければなりません。議論の枠組みをつくり、判断の基準を明確にし、その結果に責任を持つ。このことに今一度、真摯に向き合おう



太陽光発電の実情を視察

ことです。このことは国政だけの話ではありません。八ッ場ダムは埼玉県に直接関係があり、子ども手当にしてもツケは地方自治体に押しつけられています。県政も密接につながっています。

こういったことを考えながら、国政を先取りする形で、議論をし、政策を集約県として出来る施策をよりスピーディーに行っていくねばなりません。そういったことを今、感じながら、よりよい埼玉、よりよい三郷市の実現に向けて、私は日々、活動しています。

埼玉県議会議員
鈴木よしひろ

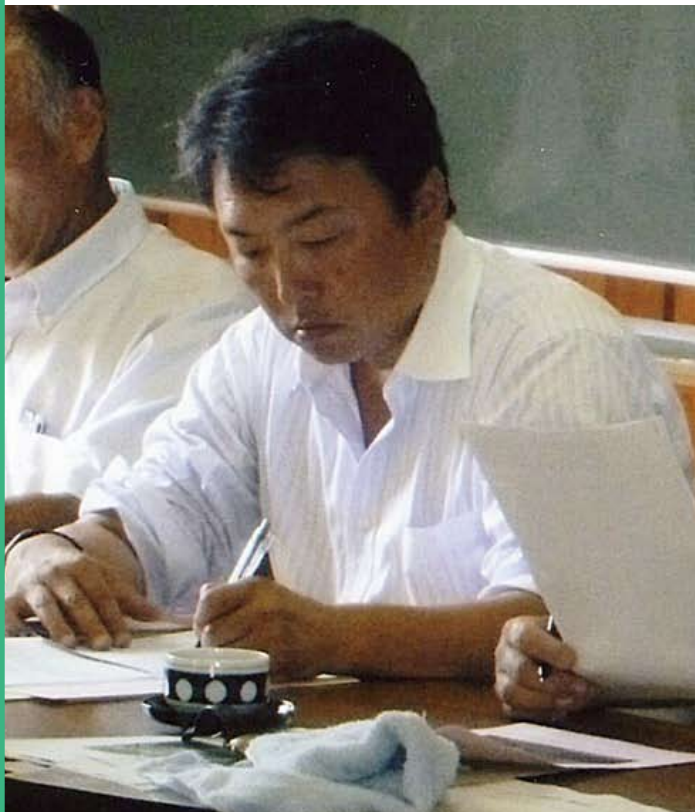
鈴木よしひろの横顔

最先端技術をつくらせてます。中心メンバーとして活躍中。

超党派の護連として、今年3月に活動開始。

資源の無い日本は技術力をもっと発展させていかねばならないという持論の鈴木県議が、埼玉県から日本の技術発展の新しい流れを創ろうと、お隣の八潮市の大山忍県議と構想を練って、立ち上げたのが「埼玉県議会議員最先端技術振興議員連盟」(会長 田中千裕県議)です。今年の3月に設立、自民、民主、公明をはじめ超党派の県議約50名が参加し、順調な活動を展開しています。

日本の次世代を支える新技術の発掘を目指す。中小企業零細企業の



鈴木県議が主力となった「要望書」も知事に提出。

9月定例会の最終日には、鈴木県議が原案を書いた「最先端技術の振興に関する要望書」を議連として知事に提出しました。

親睦会の色合いが強い議員連盟の多い中、明確な目標のもと、活発、戦略的に成果を上げるべく、活動を展開しているこの最先端技術連には各方面から注目されています。

発起人の鈴木県議は今後もさらに活動を充実させていくと抱負を語っていますので、今後の成果が楽しみです。



このままでは大打撃を受ける日本の農業

TPPとは「環太平洋戦略的経済連携協定」。関税など無しに貿易が行える自由貿易圏を太平洋周辺に広げ、作ろうという構想です。

農水省の試算では、日本がTPPに加盟すると他国からの安い農産物が大量に輸入されるため、国内農業が大きな打撃を受け、農業関連のGDPが4.1兆円も減少、関連産業への影響も含めて国内総生産(GDP)が約7兆9千億円減少するとしています。しかし、私はこの試算を

そうじゃないだろ!? 政策論断

TPPを契機に農業を考える。



何をいまさらという思いを持って聞いていました。アメリカでは機械化、省力化して一人で何百ヘクタールの農業を行っています。一方、日本は、五反歩(0.496ヘクタール)とか1町歩(0.992ヘクタール)のところ、猫の額で作っていますから、そこで生産性やコストはどうかと比べても勝てるわけはありません。規模からいって、日本の農家は100分の1だとか、10分の1だというのは、みんな知っている話です。

今こそ、産業としての農業を問い直す

何の商売でも損益分岐点というのがあります。現実には今の日本の農家は、1町歩、2町歩では飯が食えません。個々の圃場整備事業で土地改良を、例えば、3億6000万円税金を使ってやるけれども、そこで生産性は上がっているのか。3億6000万の元が取れる計算があったのか。農業としてなりたたないところに予算を使っても、いずれ立ち行かなくなります。

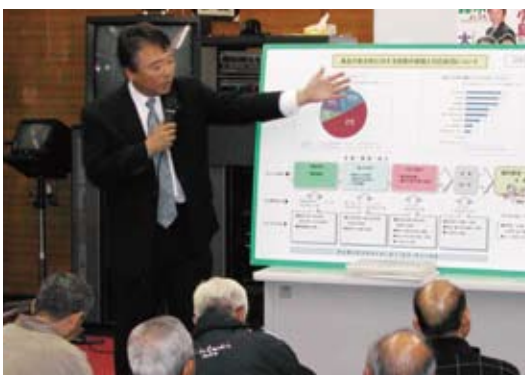
それを国の政策は、国土の保全とか、文化の継承とか、多面性があるのか、そういうことを言っていて、これまで続けて来ましたが、農業自体が自然現象を相手にしているものだから、どうしてもそこに神が宿る。それはわかるけれども、生産性を置いておいて、精神論や思想になってしまおうと、本当に農業のためになりません。これでは、

農業従事者も消費者も全部不幸になってしまう。

農業は商いだから、商業も工業と一緒で、儲からなければやれないし、誰も跡継ぎは出てこない。辞めて行くばかりです。

利益を生み、継承すべく本質的な議論で展望を

私が県で農業支援を訴えるとき、常にその問題意識を持って発言をしています。生産を上げるため、融資制度を充実しよう。流通を開拓しよう。儲かる野菜は何なのか。その情報



をいかに早く仕入れるか。こういった部分に埼玉県はまだ改善の余地があります。埼玉は都市近郊農業としての将来像を確立しなければいけません。顧客要求に合わせた商品開発やコスト意識など、当たり前前のビジネス感覚を元に、地域においては地産地消、農工商連携、輸出産業化といったいくつかの道があります。他県に先駆けてこうした動きを行っていくことが重要です。そういう思いで働きかけをしています。

ミニ集会を開催しています。
グループなどでミニ集会を企画して下さい。
鈴木よしひろが政治のこと、県政のこと、まちの未来などを皆様と語ります。開催希望の方はご連絡下さい。可能な限り調整してお伺いします。
ご希望の方はお問い合わせ下さい。
事務所 電話 048-948-2070

変更しました!
鈴木よしひろのメールアドレスが変わりました。
新しいアドレスは
yosshisuzuki@gmail.com
お手数ですが、変更をお願いいたします。

REPORT

9月定例会のご報告

防災ヘリ、雇用・中小企業支援のために 補正予算7億7253万2千円を決定。

累計1兆6833億9384万3千円（一般会計）に

9月定例会は9月24日（金曜日）から10月15日（金曜日）まで行われました。

今議会ではさる7月25日の墜落事故により使用不能となった防災ヘリコプター「あらかわ1」の後継機を購入するための予算、雇用対策や中小企業金融支援などにかかる補正予算を中心に審議しました。

防災ヘリコプター墜落事故の後継機を導入。防災航空体制を復元。

「平成22年度埼玉県一般会計補正予算（第2号）」の主な内容は3項目となっています。

まずは、先の7月25日、埼玉県秩父市大滝の奥秩父山系ブドウ沢で、7人が搭乗した同県防災ヘリコプター「あらかわ1」が、滝つぼに転落した女性を救助中に墜落しました。パイロットとレスキュー隊員、消防隊員の5名の方々（転落した

女性もその後、病院で死亡）が亡くなるという痛ましい墜落事故が起きました。

これにより使用不能となった防災ヘリコプターの後継機を購入するための予算措置です。今回は「あらかわ1」よりも馬力や搭載重量の大きな中型機を導入し、活動能力や安全性の向上を図ることにしています。これにより、防災航空2機体制の一日も早い復元が図られます。

若年未就職者の就業支援、中小企業の制度融資への対応も。

次に、雇用対策・中小企業支援として、学校卒業後5年以内の若年未就職者に対する就業支援として、人材派遣会社と連携し、より充実した研修と職場紹介を一体的に行うことで、正規職の拡大を図る施策を行います。また、中小企業支援としては、県の制度

融資について信用保証協会に対する損失補償期間を5年間延長する施策を行うことで、金融機関が中小企業からの返済期間延長の申し出に対して柔軟な対応ができるようにし、中小企業の資金繰りを支援します。

医療機器整備や小児の在宅療養への支援も行う。

このほか、地域医療体制の更なる充実を図るため、医療機関が共同利用する医療機器の整備や、新生児集中治療室、いわゆるNICU



23年度県議団知事要望を提出

CU等に長期入院している小児の円滑な在宅療養への移行を支援を行います。

この結果、一般会計の補正予算額は、7億7,253万2千円となり、既定予算との累計額は、1兆6,833億9,384万3千円となります。



9月補正予算・主な内容

●防災体制の整備

防災ヘリコプターの購入<債務負担行為の設定>限度額 14億9,000万円

●雇用対策・中小企業支援

企業等における研修を組み合わせ若年者の就業支援 2億511万4千円
制度融資の返済条件変更申出に対する柔軟な対応<債務負担行為の設定>

●地域医療体制の充実

共同利用医療機器購入に対する助成 2億800万円
NICU等長期入院小児の在宅医療移行支援 2,862万6千円

鈴木よしひろブログはじめました。

日々の活動や政治への思いなどを折に触れて、掲載しています。是非、ご一読下さい。携帯でもご覧いただけます。

Ameba政治家オフィシャルブログ認定 <http://ameblo.jp/suzuki-yoshihiro/>



ホームページ公開中 <http://www.yosshisuzuki.com>

埼玉県議会議員

鈴木よしひろ 48歳

連絡先 / 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347

鈴木よしひろプロフィール

●昭和37年11月生●三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部卒●参議院議員・(故)土屋義彦秘書～平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在3期) ●(社)越谷法人会青年部監事、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニアチーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問等

県政についてのご意見ご要望は右記へ

TEL.948-2070 FAX.948-2071

●E-mail yosshisuzuki@gmail.com